

令和元年度 苫小牧市文化交流センター 管理運営実績シート

内容	計画及び実績等		
事業計画概要	<ul style="list-style-type: none"> 施設運営管理業務～貸館事業（使用許可、利用料徴収、施設管理） 主な事業内容～アイビー文化祭、クリスマス展、ひなまつり展、市民カレッジ、長生大学、子ども体験教室、利用者懇談会 市民ニーズの把握に向けた取組～ご意見箱の設置、アンケート調査の実施 市民サービス向上への取組 <ul style="list-style-type: none"> ①利用促進サービス～ホームページを活用した情報提供、サークルガイドの発行、催し物情報の配布 ②学校等との連携～リサイクル回収協力、職場体験（インターンシップ）の受入、学習機会の提供 自主事業の実施 		
利用実績	実績		目標
	利用件数 5,610 件	利用率 37.2%	利用件数 6,445 件
	利用者満足度 平均 96.0%		利用率 40.0%
利用者満足度	利用者アンケート結果		
	満足	65.8%	やや不満 3.0%
	やや満足	30.2%	不満 1.0%
事業費(自主事業を除く総額)	収入		
	費目	予算	決算
	指定管理費	54,290,000 円	54,290,000 円
	利用料金収入	14,024,000 円	11,282,670 円
	その他収入	491,000 円	440,105 円
	合計	68,805,000 円	66,012,775 円
	支出		
	費目	予算	決算
	人件費	30,155,186 円	26,835,000 円
	光熱水費	4,471,000 円	4,327,550 円
	燃料費	3,337,000 円	2,496,300 円
	修繕費	545,000 円	1,235,630 円
	委託費	19,029,000 円	19,002,436 円
その他物件費	3,054,000 円	2,695,972 円	
※税、一般管理費除く			
合計	60,591,186 円	56,592,888 円	

	実績	計画
自主事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ体操会（通年）2,868人 ・健康相談会（9回）59人 ・ミニ写真展（6回）（サークルまつり等の写真展示） ・プチギャラリー展示会（9回）（5月人形、切り絵展示等） ・フードドライブ事業（通年受付） ・健康麻雀入門教室（5、9、1月）120人（※1月の全9回中、5回中止） ・フォークダンス基礎講座（5、9、1月）107人（※1月の全10回中、5回中止） ・七夕を飾ろう（7月）372人 ・夏休みアロマキッズ講座（8月）14人 ・小学生アイビー探検隊（9月）40人 ・お正月に飾るいけばな（12月）10人 ・アイビークリスマスパーティー（12月）65人 ・※2020アイビー復興支援フリーマーケット ※新型コロナウイルスのため中止	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ体操会（通年） ・健康相談会（毎月1回） ・ミニ写真展（不特定） ・プチギャラリー展示会（不特定） ・フードドライブ事業（不特定） ・健康麻雀入門教室（5、9、1月）各40人 ・フォークダンス基礎講座（5、9、1月）各25人 ・七夕を飾ろう（7月）不特定 ・夏休みアロマキッズ講座（7月）15人 ・お正月に飾るいけばな（12月）10人 ・アイビークリスマスパーティー（12月）60人 ・2020 アイビー復興支援フリーマーケット（3月）不特定
事業計画の内、未実施の事業	・なし	
職員研修等の実施内容	実施 <ul style="list-style-type: none"> ・映画「ワーカーズ被災地に起つ」上映と講演（5月）17人 ・安全講座（5月）3人 ・健康教室（6月）3人 ・救命救急講習（7月）10人 ・防災研修（避難訓練 7月）17人 ・リーダー合宿研修（8月）1人 ・クレーム対応事例研修（10月）16人 ・防災研修（避難訓練 11月）17人 ・2019全国協同集会（11月）2人 ・電気安全講習（2月）1人 	計画 <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理研修 ・個人情報管理研修 ・避難訓練 ・接遇・マナー研修 ・清掃研修 ・救命研修 ・公共サービス研修 ・総務・経理研修 ・リーダー研修 ・メンタルヘルス研修
配置人員	実施	計画

	<ul style="list-style-type: none"> ・正規職員 5人 ・パート職員 11人 	<ul style="list-style-type: none"> ・正規職員 7人 ・パート職員 9人
<p>指定管理者独自で行った工夫、取組等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既存事業に終始することなく、若年層が参加できる事業を企画し、館のピーアールと利用促進に努めている ・毎朝、交流広場でラジオ体操を実施し、近隣住民の体操が習慣化することで、健康増進と施設の認知度や印象が向上している。 ・館内照明のLED化を進め経費及びCO₂削減に取り組んでいる 	